

議会ウォッチ



ココに注目!

村の“これから”を考える 《議会報告会》 P2

たび重なる「いずみ館」修繕 《定例会トピックス》 P6

ここが聞きたい 《一般質問》 P8

表紙 / 12月7日にしめ縄づくりをしました
(東峰Jr.みらい塾・つながり塾)



11月7日 いずみ館(5名)

11月8日 ほうしゅ楽舎(20名)



11月5日 小石原公民館(6名)

11月6日 せせらぎ鼓(7名)

村の“これから”を考える 議会報告会

令和6年度

11月5日～8日に議員報告会を開催しました。平成29年の災害以降開催できずにいましたが、今回、4会場で開催しました。今後の議会活動に対するたくさんの有意義なご意見(P4～5)をいただき、議員一同感謝申し上げます。



議会報告会では、総務・経済常任委員会から取り組みの報告、議員定数調査特別委員会から8月の議員定数に関する住民アンケートの結果報告を行いました。4会場でいただいた質問・意見を掲載いたします。

12月定例会では、いただいた質問・意見を受けて複数の議員が一般質問を行いました。5ページに一部を掲載し、一般質問ページでも確認いただけます。同じく5ページには、継続して両常任委員会で精査・検討が必要な項目について掲載しています。

いただいた質問・意見については、全議員で共有し今後の村政に活かしてまいります。

住：住民からの意見・質問 議：議会からの回答

買物支援の今後は？

住 食品アクセス協議会の進捗状況は。

議 協議会は令和6年5月から始まり、コンビニを中心にした買物拠点整備を検討中。

住 商工振興関係の検討も必要では。

議 協議会の後半では、立地や経営面の検討を深めるため、事務局にふるさと推進課職員との配置と委員に経済常任委員が1名参加。

旧宝珠山小学校の利活用

住 現状は。

議 議員の一般質問や総務常任委員会での事務事業調査を行っているが、現在行政からの報告はない。

防災無線の情報

住 防災無線の放送で、駐在所からの連絡は「宝珠山駐在所」からとなるのはなぜか。

議 現状は宝珠山駐在所からの情報を読み上げている。今後、担当課と両駐在所とで協議予定と聞いている。

大行司駅スロープカー設置

住 完全に実施しない方向になったのか。

議 駅周辺整備の中に、国・県の補助金等の関係があり、スロープカー

12月定例会で一般質問

西鉄バスの休日運行廃止

住 来村者から「高速バスを柵木で降りても、バスがない」というクレームが来ている。また、土日に高校生が部活に行くのにバスがない。4月以降、どうなるのか。

高倉議員の一般質問

議員 10月から始まった朝夕時間帯の乗合タクシー（村内く柵木間）も、西鉄バスと同様にフリーバスにできないのか。

ふるさと推進課長 冬季は暗いため講習を受けた一般ドライバーの運転では、道路で手をあげていても見落とす可能性がある。対応できないか検討していく。

和田議員の一般質問

議員 西鉄バス廃止後のダイヤはどのような行程で決めるのか。住民の要望等を細かに聴かないのか。

ふるさと推進課長 ダイヤは交通事業者及び協議会で検討していく。改めて意見を聴く場は考えていない。

梶原議員の一般質問
東峰村交通体系について（P9）



乗合タクシー のるーと

- 樋口議員の一般質問
- ・ 公営住宅の整備計画について（P9）
- ・ 空家対策について
- ・ 空き家バンク、各種相談について
- 黒川議員の一般質問
- ・ 空き家対策について（P11）

定住支援（住宅施策）

住 移住希望者の現状は。住宅の建設等、今後の計画は。

常任委員会で精査・検討

経済常任委員会

農業のこれからについて

住 道の駅の漬物加工品の売り上げが落ちている。今後の対応は。

議 昨年度、村が漬物加工場設置補助金を創設。また、加工場は面積が狭くても許可が取れる。（P15）

住 鼓・宝珠山地区でほ場整備等ができていないのでは。

議 ほ場整備は、モデル地区として栗松地区で4年前から計画、協議をしている。造成費が高くなり、自己負担額も高くなるため検討が続いている。

意見

・ 村の農業（米作り）についてどう考えているのか。

・ 米の乾燥・調製補助金の継続は。全戸配布チラシでは高齢者は把握できていない方もいる。

・ アライグマが増え、電柵なしでは米の箱苗が被害を受ける。

・ 団体で米作りをする場合、補助ができないか。

・ 相続されず、所有者不明となった農地が増えている。

総務常任委員会

犯罪の多様化

意見 近年様々な犯罪が増えている。防犯カメラを設置できないか。

議 直売所裏の法面は、県の緊急治山工事が計画されており、直売所がどうなるかは治山工事後になる。

伝統産業会館の老朽化

伝統産業会館が古くなり、修繕や電気代等の維持費がかさむ。社会科見学で多くの小学生が来るが、スペースが狭い。

その他いただいた意見

陶土の確保

次の採掘場所として森林公園に良い土があるが、保安林のため手をつけられない。

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊は村のことが分かるまで3年くらいかかる。4、5年の長期でする必要があるのでは。

コンサルタント依存

村の施設建設等でコンサルタントに頼り過ぎではないか。

コミュニティ協議会の進捗

各地区役員になる方が少なく、80歳を越した方でも役員にならないければならない現状がある。（P13）

議員定数に関する意見

・ 定数削減は必要ない。10名が村民を思いやり、先頭に立つ気持ちを持つこと。

・ 人口が減少したので8名にすべき。10名でいいと思うが、出身地区に偏りがある。小石原と宝珠山に選挙区を分けては。

・ 削減、維持の両方の意見はわかる。議会や議員の活動が見えない。一般質問しない議員がいるのはなぜか。

・ 議員数が減ると「つつつ」になつてしまう。議員定数は減らさない方がいい。むしろ、現状の報酬で12名にしてもよい。

・ アンケートで「議員の姿が見えない」と言うなら、こういう場に来てと言いたくなる。議会中継を見るが、議員ひとり一人がこだわりを持ち、村のために改善していくところを感じる。定数は減らしてはいけない。

・ アンケートでは60、70代の回答が多い。30～50代の「これから30、40年活躍する人」が村を考えて回答し、回収すべきでは。

・ アンケート回収率が33%と非常に少ない。

第6回臨時会(10月)議決結果一覧表

区分	審議結果	議案一覧	議案の主な内容	賛成
補正予算	可決	【専決処分】令和6年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第4号)		全会一致
その他	可決	工事請負変更契約の締結について	1 契約の目的 宝珠山駅改修工事 2 契約の変更内容 (1) 原契約金額 42,328,000円 (2) 変更後の契約金額 50,292,000円 (3) 変更する額 7,964,000円 3 契約の相手方 福岡県久留米市大石町582番地2 杠建設 株式会社 代表取締役 三瀬恵美子	全会一致

第7回定例会(12月)議決結果一覧表

区分	審議結果	議案一覧	議案の主な内容	賛成
条例	可決	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	刑法等の一部を改正する法律及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律が、令和4年6月17日に公布、令和7年6月1日に施行にされることに伴い、条例上の「懲役」及び「禁錮」を「拘禁刑」に改める。	全会一致
	可決	東峰村特別職の職員の給与等に関する条例及び東峰村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和6年11月26日付 東峰村特別職報酬等審議会の答申を受け、東峰村特別職の職員の給与等に関する条例及び東峰村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する。 改正の主な内容:①(特別職) 期末手当2.70月分→2.80月分(0.10月分引上げ)	
	可決	東峰村一般職の職員の給与に関する条例及び東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に準じて、東峰村一般職の職員の給与に関する条例及び東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する。 改正の主な内容: ①民間給与との格差(2.76%)を解消するため、初任給を始め、概ね30歳台後半までの職員に重点を置いて俸給表を引上げ改定 ②(一般職) 期末勤勉手当4.50月分→4.60月分(0.10月分引上げ) ③(暫定再任用職員) 期末勤勉手当2.35月分→2.40月分(0.05月分引上げ) ④(特定任期付職員) 期末手当3.40月分→3.45月分(0.05月分引上げ)	
補正予算	可決	令和6年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第5号)(P6へ)		全会一致
	可決	令和6年度東峰村簡易水道事業会計補正予算(第1号)		
	可決	令和6年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第3号)		
その他	可決	東峰村獣肉処理加工施設の指定管理者の指定について	1 指定管理施設の名称及び所在 (1) 名称 東峰村獣肉処理加工施設 (2) 所在 朝倉郡東峰村大字小石原868番地1 2 指定管理者の名称及び所在 (1) 名称 合同会社 山のぼせ 代表社員 泉 健一 (2) 所在 朝倉郡東峰村大字小石原868番地1 3 指定期間 令和6年12月16日から令和11年3月31日まで	全会一致
	可決	財産の取得について	1 財産の取得及び数量 乗合タクシー用EV車両 2台 2 取得価格 13,952,340円(内消費税額1,255,792円) 3 契約の相手方 静岡県袋井市字刈ノ谷3-4 株式会社タジマモーターコーポレーション 代表取締役社長 浅井 秋彦 4 納期限 令和7年3月31日	
	同意	東峰村教育委員会委員の任命について(P6へ)		

12月定例会は12月10日から12日までの会期で開催しました。

7人の議員が一般質問をし、条例制定1件、条例改正2件、指定管理者の指定1件、財産の取得1件、補正予算3件、教育委員会委員の同意1件、について審議しました。慎重審議の上、原案通り可決しました。

令和4年度
修繕費5件、工事3件 総額 1056万6千円
令和5年度
修繕費4件(いずれも点検のみ)、工事1件 総額 145万9千円



たび重なる「いずみ館」の施設修繕 大規模改修が必要では？

保健福祉センターいずみ館の設備修繕費等として、326万2千円が補正予算として計上されました。過去2年間の修繕・工事実績は、上記のような状況です。今回の設備修繕の際には、トイレが2日間、風呂が19日間使用休止となりました。いずみ館は、入浴、トレーニング室指定避難所、クーリングシエルター等多目的施設として村民にとって欠かせない存在です。



いずみ館 風呂

補正予算質疑より
議員 度重なる修繕に對して、いずみ館の今後の修繕計画、管理方法について、見解を伺う。
住民福祉課長 いずみ館は建築して20年以上が経過をし、施設・設備類の経年劣化も見られる。今までは修繕という形で対応してきたが、設計コンサルに施設全体を見ていただき、長寿命化対策として予算計上したいと考えている。



仲道 優さん

この度、井上光弘さんの退任に伴い、仲道優さんが新しい教育委員会委員として同意されました。任期は、令和6年12月20日〜令和8年5月31日となります。

東峰村教育委員会委員の任命について



宝珠の郷

宝珠の郷も施設修繕
補正予算として、浴槽ろ過装置の破損に伴う更新費用等として、968万6千円が計上されました。

ここが聞きたい!

一般質問

令和6年東峰村議会第7回(12月)定例会

質問順	議員名	質問事項(色付きは記載事項)	ページ
1	ひぐち あきら 樋口 朗	公営住宅の整備計画について 空家対策について 空き家バンク・各種相談について ホームページの入札情報について	P9
2	かじわら はくお 梶原 伯夫	東峰村交通体系について 秋祭りの中止について 小石原上原地区の内浦川について	P9
3	たかはし ひろのぶ 高橋 弘展	相次ぐ税の処理誤りについて スマート農業についてと担い手について 村長選挙及び村議会議員選挙について ふるさと納税の返礼品について	P10
4	たかくら みきえ 高倉 美紀恵	西鉄バスの減便伴う対応について 東峰村の広報活動について 東峰村の文化財の管理について	P10
5	わだ まさゆき 和田 将幸	地域交通のるーとについて 岩屋駅周辺整備事業について 村道・林道の管理について	P11
6	くろかわ たかやす 黒川 隆康	空き家対策について 旧宝珠山小学校グラウンドの活用について	P11
7	ささき たかし 佐々木 孝	DX推進の取り組みについて 宿泊施設の活用と今後の住宅計画について 災害等で出た土砂の集積場について	P12

一般質問の詳細は
議事録をチェック!!



樋口 朗 議員

今後10年間で20戸の公営住宅建設は、十分に
——村長 財政的に、20戸の計画にした

議員 公営住宅の計画では、令和5年度から10年間で20戸の建設を予定。老朽化のため、新たな入居を断っている団地が複数ある。人口減少のペースを少しでも緩かにし、複式学級解消のためにも、20戸の建設は十分とは思えないが、村長の考えは。

議員 考えないが、村長の考えは。村長 財政等の関係もあり、20戸の計画にしている。今後、初期投資を少なくできる民間活力導入の可能性を検討していきたい。



梶原 伯夫 議員

4月からの交通体制変更の説明が遅いのは
——村長 協議会で決定後、早く告知する

議員 令和7年4月から杷木までの西鉄バス運行がなくなるが、その後の交通体制は。

議員 体制については、12月25日開催の地域公共交通活性化協議会で、確認決定し、ホームページやチラシ等で住民に公表する。現状より不便にならないように交通体制を継続する。

議員 村民に「のるーと」の利用促進はできないか。
村長 利用促進の呼びかけはできる。負担を極力考慮したうえで、定期券等での利用促進を行っていく。

議員 現在杷木便の土日祝の運行がないが、どうなるのか。

村長 4月以降は観光としての利用促進も考慮し、杷木便の土日祝の運行は協議会に諮りたい。



のるーと 停留所

議員 今後10年間で、建設後50年を超える公営住宅が19戸もあり、解体時期を迎える。新たに20戸建設しても住宅は増えず、十分とは



建設中の単身者用住宅(小松団地)



草刈りが難しい斜面

議員 住民が除草管理している国・県道や村道、林道の草刈りが、高齢化等により難しくなっている。危険箇所などを村で聞き取り、村が安全に管理できないか。要望書での対応では、地域差が出るのでは。

農林建設課長 要望書を提出すれば、村道・林道は村が対応。国・県道は県に進達する。要望書作成が難しい地区は、地区担当職員と協議して進めたい。

岩屋駅周辺整備の協議は進んだか?

議員 令和5年度の段階で地域住民の想いとかなり違っていた。令和6年3月の全員協議会にて、村長はさらなる協議が必要と言っていたが、その後は。

村長 10月に関係団体・事業者とヒアリング等を行い、現在、場所・配置の検討を行っている。地域住民への説明会の中で、中心となる事業者と地域が一緒になって考えていきたい。

議員 引越し支援補助金・家財道具等処分補助金は、領収書等を添付とあるが、業者を利用しないと補助金は出ないのか。

ふるさと推進課長 要綱では村内事業者を利用したものが対象である。

議員 自らが作業を行う人もいると思うが、業者を利用しなくても補助金を交付することはできないのか。

村長 引越し支援については、歴然と結果・形が見えるので、検討する。

家財道具については、適正な処分という見地もあるので、再度内容について精査、検討する。



和田 将幸 議員

除草危険箇所を村で聞き取れないか
——村長 今後の宿題としたい

村民税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料介護保険料、また、非課税者への給付金等に影響があった。対象の51名を訪問し、支払方法は金融機関にて納付書での納付、または金融機関に行くのが大変な場合に



議員 毎月15日に配布される広報で、イベントなどの情報は確実に配られている。ところが実施される月より1カ月前に配られるため忘れることが多々ある。



黒川 隆康 議員

引越し支援補助金等は自己運搬も可能か
——村長 再度内容を精査検討したい

議員 村内には、空き家が多くある。申請を待つだけでなく、積極的に登録を働きかける必要があると思うが、村の考えは。

村長 積極的な働きかけは、今後絶対に必要。

議員 今年に入り、2月の後期高齢者医療の件、そして10月には税の処理誤りがあったが、村民への影響は。

議員 役場の人為的なミスにより村民に余分な手間をかけたせているが、村長の考えは。

村長 職員一同真摯に反省し、再発防止については税のみならず行政全般でも取り組んでいく。

議員 東峰テレビのデータ放送が始まり、災害時の避難所開設や防災情報を早く知ることができ、役立っている。一方で、データ放送内の各種コーナーを見て「情報はありません」と表示される。村が考えるデータ放送とは。

村長 データ放送に掲載する内容は、住民に配布しているチラシ、ホームページに掲載する情報をセットで考えるように指導しているが、データ放送に行き渡っていない。せっかく持っている財産を使いこなせていないので、指導していく。



データ放送「ただいま情報の掲載はありません」



高橋 弘展 議員

相次ぐ税の処理誤りの責任の取り方は
——村長 指導的立場として自らを律する考えがある

は訪問対応も行うことで了解いただいた。



高倉 美紀恵 議員

東峰テレビのデータ放送のあり方は
——村長 全戸配布チラシ等と合わせて情報発信

データ放送に載せると役立つと思うが、更新はいつされているか何う。

ふるさと推進課長 更新は随時各課で行っているので、運用方法等を整理して各課に依頼する。

今、何調べてる??

常任委員会報告



島根県中山間地域
研究センター主任研究員
あずま りょうた
東 良太 氏

令和6年10月より、地域コミュニティ協議会設立検討委員会が始まりました。12月からは各地区をまわり、地域コミュニティの設立に向けて説明が行われる予定となっています。

総務常任委員会では、島根県中山間地域研究センターの東良太氏を招聘し、「地域コミュニティづくり」の学習会を実施しました。学習会では、検討委員会の進め方などについて、所管課である総務企画課とも意見交換を行いました。

住民自治は、今後どう変わる?

(東氏資料より抜粋)

これまでの住民自治 (集落・行政区・自治公民館等)	これからの住民自治 (地域コミュニティ協議会等)
「やらなければならない」 会合・出役・神事・財産管理等	「やりたいこと」 選択的・地域性重視・多様性重視
戸主を中心とした合議組織 男性中心・年齢高め・同一価値	ヒトを単位としたこの指止まれ組織 女性・若者・よそ者・やる気
決められたことを確実に実施 活動の硬直化・義務的活動	地域や構成員に応じた活動 内発性の担保
全会一致・年功序列・暗黙了解 時代の変化で実態と乖離	メールやSNSも用いた非接触 緩やかな結びつき・即効性

これからの住民自治のポイントは?

(東氏資料より抜粋)

- ①「イエ(世帯)」から「ヒト(個人)」の集まりへ
- ②みんなで考える場・雰囲気づくり
- ③地域をみんなで運営・経営していく

ただ範囲が広くなれば
いいわけではない!!

東先生からの大事なポイント

①まずは住民の皆さんが「地域の課題について話し合う」

住みなれた地域で安心して暮らし続けていくためには何が必要かを、「住民同士」で話し合うこと。

【島根県の3本柱】(ハコモノづくりではなく話し合いの仕組みづくり 地域づくり=人づくり)

- ・生活機能の確保(買い物支援、鳥獣対策等)
- ・生活交通の確保(自治会輸送等)
- ・地域産業の振興(農産加工、ブランド化等)

+ 教育・人づくり

②地域の小さなつばやきをチェック→行政職員は焚つけ役

各地域を回る中で出てくる前向きな意見を拾い、つなげていく役割を地域の支援者(行政職員)が担う。

③「組織の立ち上げありき」では失敗する

組織を行政主導で作ると「自分ごと」・「自分たちの組織」にはならない。

今後の地域コミュニティの動きについては、総務常任委員も各地区説明会を適宜傍聴させていただきます。

「組織の立ち上げありき」では失敗する

地域コミュニティ

総務常任委員会 活動報告

委員長 大蔵 久徳



DX推進拠点に推進員を置くべきでは —村長 ふるさと推進課に置くべきときえる

議員 DX推進員の人数と、活動内容は。

ふるさと推進課長 2名おり、10月に全行政区の公民館を回り、やさしいスマホ体験会を実施した。

議員 テレワークテラス宝珠の利用者と入居企業数、利用料は。ふるさと推進課長 10月末で約350名の利用者数、デジタル寺子屋を除くと180名。入居企業は5社で、経過措置として月1万6千円の利用料を無料にしている。

議員 テレワークテラス宝珠は、DX推進の拠点としての位置づけをしている。DX推進員を一人常駐させた方が村民への対応もいいのでは。村長 いろいろ考え方はある。ふるさと推進課と一緒にやる事業が主になっているので、



DX推進委員によるスマホ体験会

今のところは課内に置くべきと考える。

土砂等の処理について

議員 残土処理場の砂ぼこりや騒音といった環境問題を心配する人がいる。村の対応は。

災害対策室長 村では自然環境保全条例を定めている。事業活動に伴う環境保全は、事業者の責任において適切な措置を講じるとなっている。村は、改善勧告を出せる。

紙面の都合により、視察報告は次号に掲載します。

よこがわ きと 霧島市の横川KITOを見学

10月28日に鹿児島県霧島市横川町で、古い空き家を出来るだけ経費をかけずに活用している例を学びました。(議会広報特別委員会視察(次号掲載)を兼ねて訪問しました。)

「下駄屋さん」だった建物を「カフェ+雑貨のセレクトショップ+ゲストハウス」の機能を持つ施設にしていました。



雑貨のセレクトショップ



古民家を感じさせない店構え



古民家の風合いを活かしたカフェ

ココが素晴らしい!!

- ①古い建物を大幅に改修するのではなく、建物や調度品などの古さを活かす、その古さに価値を見出している。
- ②事業に必要な備品を、地域の方たちが提供している。
- ③建物を生かすワークショップ参加者の中から、経営する人が現れ、家族で移住している。
- ④改修資金は、霧島市ではなく、鹿児島県の「地域課題解決型起業支援金」を利用している。

東峰村の地域づくりに、大いに参考になると思います。



経済常任委員会
活動報告

委員長 佐々木 紀嘉

令和7年秋を目標に
持続可能な
農業を提言へ

令和5年7月、委員会内に「東峰村の農業の振興を研究する会」を設置。①村の米作り、②ライスセンターの活用について、③園芸、その他の振興について、提案・提言してきました。その振興策を踏まえ、令和6年9月から、「東峰村の持続可能な農業」を研究テーマに調査等を行い、令和7年9月定例会で提案・提言できるように取り組んでおります。

令和7年1月には、自治体出資型の農業法人を設立した宮崎県日之影町を訪問する予定です。視察では法人設立の経緯や体制づくり・担い手確保・農地保全等についての研修を受けます。

令和5年
8月号



水田農業の
未来に向けて
提案

経済常任委員会では、東峰村の農業の振興を研究する会(仮称)を設置いたしました。これから特に「村の水田農業のあり方」等について、本会で検討し、12月定例会で提案・提言をしたいと考えています。

令和5年
10月号



ライスセンターの
現状から考える
東峰村の稲作

7月に経済常任委員をメンバーとする「東峰村の農業の振興を研究する会」設置後、農業振興の現状を調査し、ライスセンター視察を行いました。

「東峰村の農業の振興を研究する会」では・・・

東峰村の水稲作付計画や水稲品種の更新に向けた検討などを協議し、水稲の付加価値を上げるために、土壌診断・食味分析鑑定コンクールなど協議しています。農業の担い手不足や荒地地化を防ぐための対策も村と協議しています。



7月のライスセンター視察の様子

1. ライスセンターの現状から考える
東峰村の稲作は?

ライスセンターでは、慢性的な職員不足で新たに農地受託することや、作業員(アルバイト)の高齢化で交代要員がないなどが問題化しています。施設自体も稼働8年目に入り、機械・機材には耐用年数を超えるものが出てきています。5年計画で2376俵に対し、現状4762俵となり、籾摺り機・色彩選別機の能力低下による予備機の必要性も出てきています。これが故障すると受付が出来なくなるため早めの対応が必要です。

2. 来年の梅干・漬物の制度
改正をどう乗り越える?

改正食品衛生法の施行で、漬物の製造販売が許可制になり、衛生的な製造施設などの整備が求められる為、経過措置が終わる2024年6月の完全実施までに、共同の加工所や個人・団体等の設備の補助等、村の農産物を守るために対策を協議しています。

令和6年
1月号



「東峰村の
農業の振興を
研究する会」
報告

昨年6月に発足し、「東峰村の農業振興について」を議題として、これまで9回の議論を重ねてきました。7月には、大きな災害が発生したことで、現地調査及び復旧に向けた協議も行いました。12月定例会では、次の3項目について、一般質問を通して提案・提言を行いました。

- ①村の米作りについて
- ②ライスセンターについて
- ③園芸作物・その他農業に関する項目について

質問	答弁
①村の米作りについて 籾摺り・乾燥・色彩選別・堆肥の補助は、コロナ交付金終了後どうするのか	継続する
米作りについて、どう考えているか	しっかりと考えを示していく
土壌分析を来年度から本格的に出来ないか	農振協議会で話して、早期に決定・実行できればと思う
米の食味分析計を導入できないか	導入に向けて進めたい
「東峰村うまい米コンテスト」を村が主催できないか	農振協議会と関わりが重要やるべきだと思う
普通作研究チームの創設ができないか	農協・普及センター・生産者が一緒になって、今後の米作りを検討する組織作りが必要
②ライスセンターについて 色彩選別機の耐用年数による更新と、更新時に能力アップは考えているか	指定管理者との協議の中で進めていきたい
センターは、補助事業なので、更新できる年度はいつになるか	必要な機械なので、次の収穫に間に合うよう進めたい
育苗敷地は、面積拡大ができるか	どのように行うか、管理者と協議している
センターは人手不足だが、支援策は	特定地域づくり事業協同組合みたいな制度で支援できればという考えはある
籾摺り機・コンバインなど、新規での更新はできるのか	基本的に受託の関係があり、籾摺り機などの基幹的な分については村で出来るが、コンバインなどの受託に伴う分は使用料から充てるといのがある村としては、支援する体制は取っていく
③園芸その他 施設園芸の自然災害対策の現状と、今後の振興をどう考えているか	災害の制度が整理できていないので何とかしたい園芸振興は、人員確保の課題が解決できていない
漬物加工等、法改正で令和6年6月から許可施設でないと製造できないが、今後の方策は	12月定例会で、補正予算を計上している

この質問・答弁をもとに、経済常任委員会では1月に会議を開催し、対応策を協議・検討してまいります。

令和6年
10月号



村補助金で漬物加工所設置進む
小屋等の改修で加工所になります

令和6年6月の食品衛生法改正に伴い、これまで保健所への届けのみで製造・販売できていたものが、許可が必要となりました。

経済常任委員会は、村の特産品である漬物・加工品の販売が出来なくなるので、対策を検討してきました。結果、村では令和5年12月に、漬物の製造加工所設置等補助金を制定しました。必要な設備としては、2層のシンクと手指を直接触れないで操作できる蛇口付きの手洗い場、水洗い出来る床・腰の高さ位までの壁、冷蔵庫等が必要です。これまで、許可施設2件(製造販売中)、申請中が1件となっています。

今回改修された方は、ラッキョウ・梅干・粕漬け等を出荷して

補助金交付確認

- 補助額
 - 個人: 補助対象経費の3/4 (75万円上限)
 - グループ: 補助対象経費の3/4 (150万円上限)
- 申請事業の実施期間
 - 交付決定日から令和7年3月31日までに完了できるもの

自宅横の通路を改修した加工所



狭い土地しかありませんでしたが、保健所の許可がありました。補助金で、自分の出し分が少なくて済みました。

小屋を改修した加工所



歳も歳ですが、補助金が出るので、費用が余りかかりませんでした。梅干し等を店に出す楽しみで思い立ちました。

役職	氏名
委員長	ささき たかあき 佐々木 太加彰
副委員長	かじわら けいぞう 梶原 慶造
委員	もとむら たいち 本村 太一
委員	おげき あすか 小関 飛鳥
委員	くまがえ ふみたけ 熊谷 文武
委員	たかとし しゅういちろう 高取 周一郎
委員	おにまる きほう 鬼丸 希峰
委員	たかはし さち 高橋 幸
委員	いのうえ ひろし 井上 浩
委員	いのうえ やすの 井上 安野



こんには スポーツ推進委員さん

このシリーズでは、村内の様々な委員さんの活動を
紹介していきます。今回はスポーツ推進委員さんです。

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき、村のスポーツ推進を図ることが役割です。

- ・ 体育事業の企画・立案や運営をはじめ、住民にスポーツの実技指導や助言
- ・ 年初に、スポーツ行事の年間反省や課題を生かし、次年度の計画立案

令和6年度は、一年を通してモルック大会を開催し、気軽に参加できる軽スポーツを普及してきました。普及の成果が実り、10月の「自治公民館対抗モルック大会」には、42チーム149名が参加し、熱戦を繰り広げることができました。

これからスポーツを通じて、村民の健康づくりや交流の輪を広げていきます。

ご意見やご感想を お寄せください!

議会広報紙について、皆様からの
ご意見・ご感想を募集しています

【お問い合わせ先】
東峰村議会事務局
電話 72-2311
FAX 72-2038



お詫びと訂正

議会ウオッチ10月号14ページの「ウォーキングマインレージ事業」の事務事業評価シートのデザイン及び記載に誤りがありました。

正しくは、議会ホームページにて掲載をしておりますのでご確認下さい。
お詫びして訂正いたします。



東峰村議会HP

編集後記

新年おめでとうございませ
今年乙巳(きのと・み)の
年です。

「多くの人の努力や苦労が
実りを結び始める時」と言わ
れています。

皆さんの頑張りが花開き、
東峰村が明るく成長していく
予感がします。

広報委員として、今回で11
回目となる「議会ウオッチ」を
お届けしました。ご感想はい
かがでしょうか。

今後も一層お役に立てる内
容を目指してまいりますので、
引き続きご指導をお願い申し
上げます。

(樋口朗)

議会広報特別委員 委員長	高橋 弘展
副委員長	佐々木 孝
委員	高倉美紀恵
委員	樋口 朗
委員	和田 将幸
発行責任者	伊藤 均